

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大日本印刷株式会社	事業所名	市谷事業部市谷製造本部 久喜瀬工場				
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29	
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託先を選定する際に、ISO14001やグリーン経営認証などの取得を考慮	○	○	○
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	ISO14001やグリーン経営認証などの取得状況を確認しており未取得の事業者に対し、取得を依頼	○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	()		委託業者支払いにトン距離法を採用し、二酸化炭素排出量を把握	○	○	○
04	積載率の向上	(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	製品梱包方法の統一化を実施 1PL当りの積載重量を把握	○	○	○
04	積載率の向上	(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施	自動梱包作業による梱包材の省資源化 梱包資材見直しによる省資源化	○	○	○
04	積載率の向上	(03)	輸送量に応じた適正車種での発注	各車種の積載量、及び輸送量の把握/管理を徹底し、発送効率の向上を実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	積載便利用による積載率の向上、および輸送回数の削減を実施また、帰り荷の配送管理実施	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	低年式車から高年式低燃費車両への代替の推奨 デジタルタコグラフの装着やアイドリングストップ等の省エネ運行の励行	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	協力会社とのパートナー会議等においてヒアリング	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	安全運転教育、Gマークの取得 ドライブレコーダーによる運行推進	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	事前に配送リストを入手し、配車計画を立てる	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	少量輸送の極小化及び少量輸送まとめ配車による積載率の向上	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	配車マンによる渋滞情報の把握と輸送ルート指示 ドライバーからリアルタイム情報収集	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	同事業部内工場を利用した配送を実施	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	出来待ち・納入先待ち時間削減によるトラック回転数の向上	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	生産計画及び納入先等の情報を共有	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	配車計画作成による時間指定トラック配車 混雑時の構内道路待機の推進	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大日本印刷株式会社	事業所名	市谷事業部市谷製造本部 鶴瀬工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認		委託先を選定する際に、ISO14001やグリーン経営認証などの取得を考慮		○	○	○
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認		ISO14001やグリーン経営認証などの取得状況を確認しており未取得の事業者に対し、取得を依頼		○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	委託業者支払いにトン距離法を採用し、二酸化炭素排出量を把握	○	○	○
04 積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	製品梱包方法の統一化 1PL当たりの積載重量を把握	○	○	○
04 積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	自動梱包作業による梱包材の省資源化 梱包資材見直しによる省資源化	○	○	○
04 積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	各車種の積載量、及び輸送量の把握/管理を徹底し、発送効率の向上を実施	○	○	○
04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	積載便利用による積載率の向上、および輸送回数の削減を実施また、帰り荷の配送管理実施	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	低年式車から高年式低燃費車両への代替の推奨 デジタルタコグラフの装着やアイドリングストップ等の省エネ運行の励行	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	協力会社とのパートナー会議等においてヒアリング	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	安全運転教育、Gマークの取得 ドライブレコーダーによる運行推進	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	事前に配送リストを入手し、配車計画を立てる	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	少量輸送の極小化及び少量輸送まとめ配車による積載率の向上	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	配車マンによる渋滞情報の把握と輸送ルート指示	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	同事業部内工場を利用した配送を実施	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	出来待ち・納入先待ち時間削減によるトラック回転数の向上	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	生産計画及び納入先等の情報を共有	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	配車計画作成による時間指定トラック配車 混雑時の構内道路待機の推進	○	○	○
-------------------------------	--------------------------------------	---	---	---